# 平成27年度青葉小だより

第１１号

**★青葉小学校の目標!**
ときをまもり・ばをきよめ・れいをただす
**時を守り・場を清め・礼を正す**

北九州市若松区青葉台西３－１－１
北九州市立青葉小学校　℡７４１－５５１１
Ｈ．２７．１０．２６文責　校長　田中 理章

## 学校へ行こう!!　学校開放週間が始まりました!

先日のプリントでお知らせしておりましたように、今日から１１月１日(日)まで、青葉小学校の学校開放週間が始まりました。この学校開放週間とは保護者や地域のみなさんにもっと学校を身近に感じて欲しいとの願いから、１０年以上前から本市教育委員会の発案で実施されているものです。本校では児童が在校している時間帯であれば原則自由に学校内を見学していただいて結構です。日頃なかなか目にすることの出来ない給食時間や掃除時間等も参観していただいて結構です。尚、３０日の午前中は学習発表会の児童観覧日となっていますので全児童は体育館にいます。

ご来校の時は名札をご持参くださいますようお願い申し上げます。また、受付名簿を用意しておりますので、お名前の記入をお願いいたします。但し、授業中は教室後ろや廊下などでのおしゃべりや携帯電話等のご使用はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。子どもたちも楽しみにしていると思いますので、遠慮無くご来校してください。お待ちしています。

## 地域の方々に感謝されました!

先週末朝の交通指導をしていたら、まちづくり協議会会長の早野様から声をかけられました。「先日、中央公園の土手の部分の草刈りをした際、近くに住んでいる４年生の子どもたち数名が寄ってきて、刈った草を袋に入れる作業を手伝ってくれました。作業をしていた人たちがとても喜んでいましたよ。」という内容でした。更に「最近は子どもたちの朝の挨拶の声が大きくなってきました。大人が見習わなければいけないくらいです。」とも言われていました。

朝からとても幸せな気分になりました。早速先週末、全校放送で子どもたちに伝えました。青葉小学校に赴任してきたことに感謝したくなる１日でした。

## にこ・わく学級が、合同作品展の見学に行きました!

１０月２２日(木)に特別支援学級合同作品展が戸畑区のウェルとばたで開かれました。本校のにこにこ学級、わくわく学級の子どもたち２３名の作品も展示されているので、みんなで見学に行きました。午前中に「わくわく学級」が午後から「にこにこ学級」が見学に行ったのですが、当たり前のように自分でバス代を支払ったり、ＪＲの切符を買ったりしている姿に感心しました。会場の「ウェルとばた」でも自分たちの作品だけではなく、他校のお友達の作品を真剣に観て、「来年はこんな作品が作りたい」等と話しながら見学している子どもたちの成長を実感しました。

## 紅葉の季節となりました!　季節を感じる感性を育ててください!

九州でも紅葉が見頃を迎えたというニュースが聞かれる時期となりました。もうしばらくすると青葉台の銀杏の木々も鮮やかな黄色に色づくことでしょう。このように木々の変化は身近に季節の移り変わりを感じさせてくれます。但し、最近読んだ本によると、今の子どもたちに「どんなことで季節の変化を感じますか」と尋ねたところ、「特に感じない」や「気温の変化」「カレンダーを見て」等の意見がほとんどだったそうです。昔の子どもたちは「雲の変化」「木々の変化」「咲いている草花の変化」「果物や野菜の変化」等様々な意見が多かったそうです。確かに一年中快適な温度で生活し、四季の変化を感じさせるような食べ物も少なくなってきています。しかし、このような時代だからこそ、もっともっと感性豊かに子どもたちを育てたいと思いませんか。キンモクセイの香りに秋を感じ、道ばたに咲いている草花に季節を感じ、更には夜空の星座の変化に季節を感じるような子どもたちこそ、これからの時代に必要になってくるのだと信じています。これからの時代は「環境の時代」と言われています。様々な環境問題に目を向け、環境保全に目が向いてない企業は経営が成り立たなくなるとも言われています。このような事からも感性豊かな子どもたちの育成は教育の最重要課題の一つです。まずは家庭で季節の変化を感じるような体験を増やしてあげてください。更に保護者の方々から色々な変化に敏感になること(感性を磨く)の素晴らしさを教えてあげてください。私からも子どもたちに伝えていきたいと思います。